

日本一の大鳥居と野球の神様



関の氏神の亀山八幡宮の正面に立つ大鳥居は、御影石製鳥居としては日本最大の鳥居で昭和8年に建立されました。徳山沖の黒髪島産の白御影石造りで左右の柱のつなぎ目がありません。

この鳥居の「山」の字のところに野球のボールが見えます！昭和33年当時、近所の営業所の従業員が野球の練習をしていて挟まったそうですが、その後下関商業や早鞆高校が甲子園で相次いで大勝利を納めたため、今では野球の神様とも言われているそうです。